

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年3月3日

事業所名 リンク大和東教室

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・配置をスタッフ間で共有している。	・レイアウトやハード面の定期点検を実施する。
	2 職員の配置数は適切である	○			・適切な配置となるよう、システムで管理し、適宜調整している。	・突発的な状況にも対応できる職員体制を整備する。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○	○		・ヒヤリハットから環境整備を、また、常時危ない箇所の洗い出しを行っている。 ・必要に応じて、個別に働きかけをしている。	・建物の構造上で、段差や狭さを感じる箇所もある為、利用者の状況に応じて出迎え・お見送りのサポートまでを支援として行う。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・月1回会議を実施している。 ・月1回、職員の個別面談を実施している。	・より多くの職員が会議等へ直接参加できる機会を確保する。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				・ホームページ上で公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○			・外部評価は行っていないため、今後検討する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・内部研修は月1回、各職種(※)からの研修機会を設けている。 ※理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・公認心理師・精神保健福祉士・保育士・児童指導員 等	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			・相談支援事業所の利用計画を確認し、本人・保護者のニーズをセラピスト・指導員・児発管で評価し、作成している。	・より多くの職員が計画作成会議に参加し、客観性を深める。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				・現在よりも更に、保護者に対して趣旨や評価などがわかりやすい形式で提示を行う。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・各職種(児発管・担当者・セラピスト)で話し合い、広げている。	・各職種のチーム連携による支援をより深めていく必要がある。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・職種間で話し合い、適宜工夫している。 ・季節や時事に応じて変更している。	

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			・休暇中のご自宅での様子を伺っている。	・休暇中にご家庭で行える支援方法の自宅で行えるプログラムを提案をしていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している		○			・非該当。(個別療育を中心に活動しているため、集団活動を行っていない。) ・利用者様のニーズや社会情勢を踏まえて、検討したい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・管理者を中心に修正・調整している。 ・療育プログラム表の作成・確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			・支援記録等の情報は、全職員が共有できる方法を活用している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・支援記録等の情報は、電子システム・帳票類の両面で上で全職員が共有し、短時間でもコミュニケーションを図っている。	・事例検討会などが頻繁に行えるよう、時間を設ける。

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			・モニタリング期間外でも必要に応じて見直している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			・送迎を行っていないため、学校行事などについては保護者に確認している。	・送迎は非該当。 ・学校行事や休業日などについて、スムーズに把握できるよう検討したい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			・該当する児童の利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			・各機関に適宜報告している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				・現在は該当する児童はいないが、情報提供できるよう整備する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			・児童発達支援連絡会に参加し、助言や研修を受けている。 ・職員間で情報が共有されている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			・社会情勢(コロナ禍)を踏まえて検討したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				・社会情勢(コロナ禍)を踏まえて検討したい。
保護者への説明書	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・保護者へのフィードバックの時間を設け、共通理解を図っている。	・相談支援サービスをより充実したものにする。 ・相談支援サービスを気軽に利用できるよう体制を整える。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			・ペアレントトレーニング研修は実施していない。 ・保護者のニーズを把握し、開催を検討したい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			・契約時や変更時等に必ず説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			・保護者からの相談や聴取り、また、環境変化のある児童に対し、適宜必要な助言や支援を行うようにしている。	・相談支援サービスをより充実したものにする。 ・相談支援サービスを気軽に利用できるよう体制を整える。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			・社会情勢(コロナ禍)を踏まえて検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・苦情相談の体制を整備し、迅速に対応している。	

具 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・毎月1回会報誌(リンクしんぶん)を発行している。 ・ブログ等でも頻繁に情報を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○				・社会情勢(コロナ禍)を踏まえて検討したい。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			・年に2回、訓練を実施している。	・社会情勢を鑑みて、より実践的な訓練を定期的に行っていく必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・年に2回、訓練を実施している。	・職員一人一人が的確に迅速に行動できるように、頻繁に訓練を行う必要がある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			・年間複数回の内部、外部研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				・該当する児童の利用がない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				・食事提供がないため非該当。(初回アセスメント時に確認し、情報共有はしている。)
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			・事例集とは別に個別のケア記録作成や、当日中に改善案を協議して全体周知を徹底している。	・未然に防げるよう、日々の気付きを共有して、迅速に対処できるよう取り組む。